

意見書

平成26年11月21日

総務省 総合通信基盤局

電気通信事業部 電気通信技術システム課 御中

郵便番号 698-0024

住所 しまねけんますだしきままちょう 島根県益田市駅前町 17-1 EAGAA201

氏名 かぶしがいしゃあつとあい 株式会社アットアイ

だいひょうとりしまりやく よこた ひろと 代表取締役 横田 洋人

電話番号 0856-25-7477

電子メールアドレス info@i.at-i.jp

「OAB-J IP 電話の品質要件の在り方に関する研究会」報告書（案）に関し、別紙のとおり意見を提出します。

この度は、「0AB-J IP 電話の品質要件の在り方に関する研究会」報告書（案）に対する意見提出の機会をいただき有難うございます。

以下に、当社の意見を述べさせていただきますので宜しくお願い致します。

「第1章 3. 品質要件見直しに係る検討の必要性」について、強く賛同致します。この度の報告書の中で触れられておりませんが、先ずは PSTN での電話交換方式による従来のアナログ電話サービス（以下、アナログ電話）の音声品質がどの程度であるか、MOS 値などユーザー評価により近い方法で検証する必要があると考えます。

現在、電話の中継局などが統合・廃止された地域の中には、収容局からの距離が極端に遠くなっているところがあり、アナログ電話の音声品質が著しく悪化しております。特に収容局からの距離が二十数キロという地域の方からは「音声小さすぎて聞き取れない。」というような声も聞こえてまいります。

このような現状にあるアナログ電話の音声品質が改善されないまま、0AB-J IP 電話のみ高い品質を求めている現在の基準はアンバランスであると考えます。

今後更に 0AB-J 電話（アナログ電話及び IP 電話）サービスが利用者にとって利便性の高いもの（適切な品質、且つ出来るだけ安く）となるよう、アナログ電話と 0AB-J IP 電話、相互でバランスのとれた実用的な基準に見直す必要があると考えます。

以上